

山弓連

平成27年7月

(平成27年度 第2号)

関東地域弓道選抜選手権大会出場選手場

平成27年9月13日(日)

千葉県総合スポーツセンター

有段者の部

五段 上条 剛央 四段 中村 昌夫

五段 渡辺 純子 五段 山下 弘行

五段 中澤 国弘

称号の部

教士六段 綿奈部博史 練士六段 京ヶ島俊人

練士五段 五味 真紀 教士六段 和智 一雄

教士六段 芦澤 茂幸

全日本弓道選手権大会 出場選手

平成27年9月 伊勢市

教士六段 標 輝人 練士五段 五味 真紀

教士六段 芦澤 茂幸

国体 関東ブロック大会出場選手

平成27年8月22・23日(上田市)

成年男子・渡邊幸太、長澤和久・上条剛央

成年女子・中村舞、根津真弓、根津里美

少年男子・高瀬敦也(北杜)伊藤卓(北杜)

金野響(甲府第一)

少年女子・田辺千里(河口湖)初鹿玲奈(吉田)

輿石なな(北杜)

伝達講習会 受講報告 (新藤康平)

梅雨とは思えない爽やかに晴れわたった

6月28日、小瀬武道館弓道場で伝達講習会が開催されました。

今年度は芦澤茂幸先生による関東南部地区指導者講習会の報告をもとに指導を受けました。

平成27年度指導方針

「弓道教本及び副読本に基づいた基本の徹底」

指導者の心得

1、指導者の持つ影響力を自覚し、自身の言動の倫理性について常に注意を払うこと

(パワハラセクハラ等)

2、指導に当たっては、自らが実践・躬行(きゅうこう)すること

「広辞苑・躬行・口でいう通りを自ら 実際に行うこと」

3、指導に当たっては、弓道教本および副読本に基づき全国的に統一された指導を行うこと

指導項目(以下当日指導のうち私自身が特に注意しなければならない項目について教本の文章を引用します。下線部、)

1、基本体および射法射技の基本

(1) 歩き方の指導

(参照・教本1巻P76 教本4巻P236, 237)

右に方向(直角・斜めに)を変える場合は、左足のかかとから右足が出る(L型)

左に方向(直角・斜めに)を変える場合は、右足のかかとから左足が出る(L型)

1巻P76「注」足だけでなく腰を回す気持ちで回る

(2) 跪坐と開き足の指導

(参照・教本1巻P69, 72, 73, 77 4巻P237, 239)

1巻P79「注」(二)足で向きを変えるのではなく、腰で回るようにすること

4巻P237☆跪坐の項・2行目・足の習性で、引く時踵は内に入りやすいものですから、やや踵を外に出すつもりで引けば、両足の約3センチ間隔が保てます。

1巻P69・(イ)跪坐の項、最終行・足は双方そろい、踵が開かないようにつけ、爪先はなるべく体の内側に入れる

1巻P77・坐しての回り方(開き足)写真の説明文

・両膝が離れないように九十度の角度に運ぶ

(3) 胴造りの際、弓の本弭は左膝頭に置く

(参照・教本1巻108 4巻P245)

4巻P245・胴造りの項・2行目

弓の本弭を必ず左膝頭において、右手を腰の辺りにとって残身をとります。

(4) 正しい「的の狙い」の確認

教本1巻P119(ねらい)「会」においては、矢は正しく的の中心線に向かっていなければならない。

2、矢羽根の取り扱いについて

3、弓道競技規則の改定について

4、審査規定の改定について

第36回あやめ祭り弓道大会の報告

富士川町弓道部 部長 米長朝喜

平成27年5月

第36回あやめ祭り弓道大会が平成27年5月10日(日)に富士川町殿原弓道場で行われました。

まぶしい程の新緑と、気持ちの良い五月晴れのもとで大会を迎えることが出来ました。

『あやめ』も咲き始め、大会に花を添えてくれました。

遠くは埼玉県や静岡県から、また県下全域より

合計70名の弓友の参加がありました。

競技は近的8射、遠的8射を個人戦で行いました。

成績では甲府市の中澤国弘選手が近的・

遠的とも1本も外す事無く完全優勝でした。

近的			
1位	中澤国弘	8中	甲府市
2位	渡辺誠一	7中	中央市
3位	伏見雅子	7中	都留市
4位	望月千聖	6中	中央市
5位	渡辺雅宏	6中	富士吉田
6位	鎌和田哲史	5中	富士吉田
7位	関口二郎	5中	埼玉県
8位	雨宮 哲	5中	御坂町
9位	中村徳海	5中	埼玉県
10位	渡辺 優	5中	富士吉田
遠的			
1位	中澤国弘	8中	甲府市
2位	曾根 豊	6中	富士吉田
3位	川手 桂	5中	富士宮(琴平)
4位	渡辺 亮	5中	富士吉田
5位	丸山悦司	4中	富士市
6位	深見恵子	4中	埼玉県
7位	伏見雅子	4中	都留市
8位	青島 勉	3中	中央市
9位	野矢晴香	3中	甲府市
10位	酒井紀夫	3中	都留市

富士北稜 対 佐倉西(千葉) 9対8

甲府工業 対 都立美原(東京) 8対7

2回戦

富士北稜 対 岩槻商業(埼玉) 9対8

甲府工業 対 船橋芝山(千葉) 8対7

準決勝

富士北稜 対 市立前橋(群馬) 9対9(競射2対3)

甲府工業 対 川越(埼玉) 9対11

両校とも3位入賞

●女子団体

予選(24射)

巨摩 16中 予選通過

塩山 16中 予選通過

甲陵 15中 予選通過

韮崎 14中 予選通過

決勝トーナメント(12射)

1回戦

巨摩 対 鎌倉女子大(神奈川) 7対5

甲陵 対 東(東京) 7対6

韮崎 対 佐原(千葉) 5対8

塩山 対 健大高崎(群馬) 5対9

2回戦

巨摩 対 作新学院(栃木) 3対10

甲陵 対 大宮光陵(埼玉) 8対9

●男子個人(8射)

6位 井出澤望(甲陵) 7中

(順位決定は競射による)

●女子個人(8射)

3位 三井鈴(甲陵) 8中

4位 芝田さくら(塩山) 8中

(順位決定は競射による)

以上のような結果でした。

平成27年度関東高等学校弓道大会

日時:6月6日(土)~7日(日)

場所:埼玉県立武道館(埼玉県上尾市)

●男子団体

予選(24射)

甲府工業 16中 予選通過

富士北稜 16中 予選通過

甲陵 14中

甲府商業 13中

甲府東 8中

決勝トーナメント(12射)

1回戦

男子団体2校の3位入賞、女子団体全出場校の決勝トーナメント進出、男女個人3名の入賞と、多くの成果を残すことができました。関東各都県の中では最も小さい県ですが、他県に劣らずこのように活躍できることは素晴らしいことだと思います。これからの全国・関東レベルでの大会でも、生徒たちの活躍を期待したいと思います。

大会名:第 60 回 全国高等学校総合体育大

会弓道大会山梨県予選 兼 第 57 回 室井

旗争奪弓道大会

日時:6月20日(土)～21日(日)

場所:小瀬武道館

今年度も全国高校総体(インターハイ)県予選を、むろい株式会社の室井聡一郎様の支援をいただきながら開催することができました。全国大会への切符をかけ、熱のこもった試合が繰り広げられました。

団体戦(5人立ち)では、計60射の的中により選ばれた上位4校が決勝リーグで戦い、男女とも大接戦となりました。

女子団体では、甲府商業、韮崎、北杜の3校が2勝1敗で並びました。さらに甲府商業と韮崎は総的中数も同中となったため、優勝決定の競射までもつれ込み、甲府商業が見事に勝利しました。

男子団体は、リーグ戦の6試合のうち5試合が1本差と、正に手に汗握る試合展開でした。最終的には的中数で上回った甲府工業が優勝の座に輝きました。

個人戦は、予選・決勝の計16射の的中で争われ、優勝チームの選手を除く男女上位2名がインターハイの出場を決めました。

インターハイは8月6日～9日に奈良県吉野町で行われます。団体の甲府商業、甲府工業はともに2年連続の出場で、甲府商業のメンバーはほとんどが昨年度の出場経験があり、また甲府工業は関東大会で3位入賞の結果を残しています。団体・個人とも、全国の舞台で大いに活躍して欲しいと思います。

女子団体決勝リーグ結果

○は代表権

順位	学校名	勝	敗	的中数	
1位	甲府商業	2	1	35 中	○
2位	韮崎	2	1	35 中	
3位	北杜	2	1	32 中	
4位	笛吹	0	3	21 中	

男子団体決勝リーグ結果

順位	学校名	勝	敗	的中数	
1位	甲府工業	2	1	41 中	○
2位	巨摩	2	1	32 中	
3位	甲陵	1	2	37 中	
4位	甲府第一	1	2	35 中	

女子個人結果(16射)

順位	学校名	選手名	学年	的中数	
1位	甲府商業	市川 日菜	3	15 中	
2位	富士北稜	鈴木 恵理 奈	2	14 中	○
3位	甲府商業	河田 美咲	3	13 中	
4位	甲府昭和	岡村 詩織	2	13 中	○

男子個人結果(16射)

順位	学校名	選手名	学年	的中数	
1位	甲府工業	横田 慎太郎	3	15 中	
2位	山梨	小宮山 翔	3	14 中	○
3位	巨摩	折居 優次	3	13 中	○

報告 青高体連弓道専門部委員長 青野孝文